

各位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
藤津農業指導者連絡協議会
杵藤農林事務所

「麦作情報（第4号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「麦作情報（第4号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

この情報はホームページ

<http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00370691/index.html>

にも随時公開しています。

藤津農業改良普及センター

検索

今年度は断続的な降雨が続いていた影響などにより肥料分の流亡が多く、小麦で葉色が薄い圃場では積極的に穂揃い期追肥を施用してください。

1. 今後の管理

(1) 施肥

・穂揃い期追肥

上記の通り本年は葉色が極端に薄い圃場が散見されます。そのまま登熟が進むと子実のタンパク質含有量が基準値を満たさないことが懸念されるので、下表を参考に穂揃い期追肥を実施しましょう。

穂揃い期追肥を尿素葉面散布で行う場合、赤かび病防除との同時処理を行っても薬剤の効果に影響はありません。

大豆作後であっても葉色が薄い場合は必ず穂揃期追肥を施用してください。特に薄い場合は窒素成分で3kg施用してください。

表．穂揃期追肥の目安

品 種	SPAD 値	群落葉色（葉色板）	窒素成分（kg/10a）
シロガネコムギ	40 以下	3.8 以下	2.0(BB602 で 12.5kg) (硫安で 10kg)

チクゴイズミの圃場では、窒素成分で2kg/10a(硫安で10kg/10a)の穂揃い期追肥を施用。

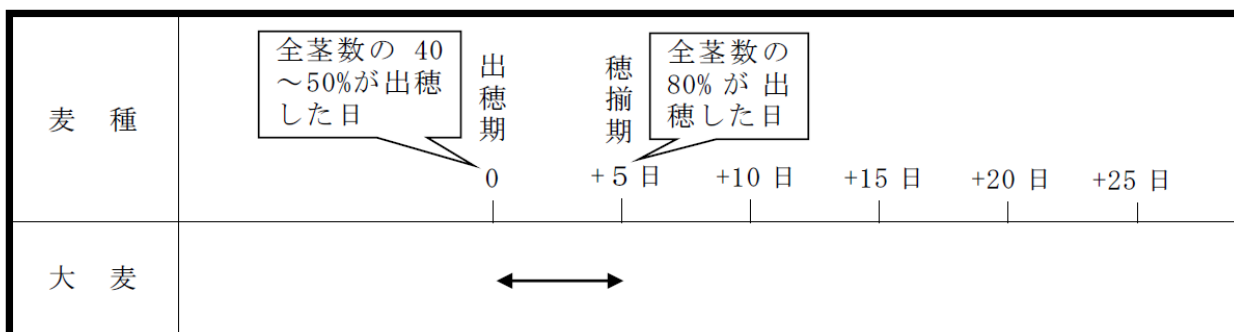
大麦についても粒の肥大を良くするために葉色が薄い圃場では追肥を行ってください。

(2) 病害虫防除

大麦網斑病：本年は高温多雨で推移しているため、網斑病の発生が目立つ圃場が見受けられます。発生圃場では出穂期～穂揃い期にチルト乳剤又はワークアップを散布してください。もし、出穂期より早い時期から発生株が多発生し、病斑が上位葉に進展している場合は、出穂期前でも防除を実施してください。

網斑病は病斑が上位3葉まで上がってきた場合、大幅な品質低下と減収を引き起こします。

網斑病の防除適期



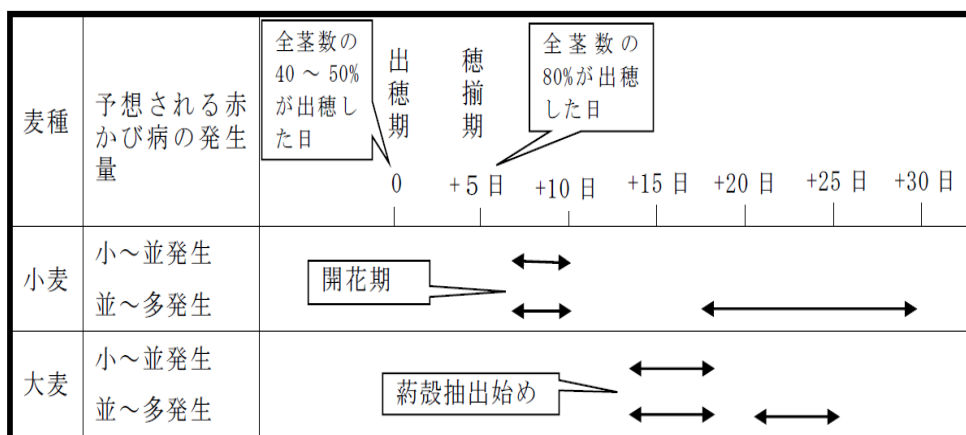
注1) 出穂期とは全茎数の40～50%が出穂、穂揃期とは全茎数の80%が出穂した日。

注2) 矢印は防除適期

赤かび病：麦の品質や食の安全性の確保を図るため、適期防除の徹底が重要。
発病抑制と毒素(DON)低減効果の面から下記を参考に実施してください。

大麦はるか二条については2回防除が基本となります。もし、網斑病と同時防除する必要がある圃場では穂揃期と葯殻抽出期に2回防除を行ってください。その際、穂揃期の防除にはワークアップフロアブル、シルバキュアフロアブル等を用いてください。

赤かび病の防除適期



注1) 出穂期とは全茎数の40～50%が出穂、穂揃期とは全茎数の80%が出穂した日。

注2) 小麦の開花期とは40～50%の穂が開花した日。

注3) 大麦の葯殻抽出始めとは、50%以上の穂で葯殻が見え始めた日。

注4) 大麦で2回目の防除を行う場合、薬剤の使用方法（収穫前日数）に特に注意する。



(3) 排水対策

降水量が多くなっており、溝に水が溜まっている圃場も見られるので、排水口や暗渠を活用して排水に努めてください。排水口と畦溝がつながっておらず、退水が悪くなるケースがあるので、枕部を横断するように退水路を設ける。また、場合によっては排水口を増設するなど環境を整えてください。

2. 気象概況（白石町のアメダスデータ）

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R2 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R2 (hr)	平年比 (%)
3月	1	7.4	9.3	1.9	12.8	13.4	0.6	2.4	4.3	1.9	16.1	1.5	9%	23.1	23.8	103%
	2	8.0	9.5	1.5	13.5	14.2	0.7	2.8	4.5	1.7	18.0	33.5	186%	23.5	19.3	82%
	3	8.9	9.2	0.3	14.4	14.3	-0.1	3.6	3.1	-0.5	21.0	1.5	7%	24.0	36.1	150%

3月1~3半旬の平均気温は平年より1.2 高かったが、3半旬はやや冷え込んだ。降水量は平年比66%であるが、2半旬に平年比186%のまとまった降雨が見られた。日照時間は平年比112%であった。

3. 麦類情報田の生育状況（調査日：3月19日）

・暖冬で経過したため生育が早く進んでおり、11月中下旬に播種された小麦ではすでに止葉葉位となっている。また、大麦で12月上旬に播種された圃場では、現在9~11葉期を迎えている。ほとんどの圃場で生育が2週間程度早く経過しているため、出穂期も平年より早まり1週間後の3月下旬頃と見込まれる。特に早く播種された大麦ではすでにに出穂期を迎えており、赤かび病防除の適期（3. 今後の管理参照）を逃さないよう準備を早めに行う。

品種		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD 値)	備考
シロガネコムギ (11月23日播種) 武雄市橘町	本年値	64.4	612	9.7	40.7	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年よりかなり高い。 ・茎数は平年より少ない。 ・葉齢は平年に比べ1.3葉進んでおり、すでに止葉葉位に達している。 ・葉色は平年に比べ薄い。
	過去5カ年平均値	43.7	794	8.4	43.6	
	対比	(147%)	(77%)	(+1.3)	(-2.9)	
	農試参考値	72.4	654	9.1	-	
	農試平年比	(137%)	(95%)	(+0.3)	-	
サチホゴールデン (11月30日播種) 白石町新明	本年値	68.1	628	10.9	42.0	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年よりかなり高い。 ・茎数は平年よりかなり少ない。 ・葉齢は平年に比べ1.3葉進んでいる。 ・葉色は平年並み。
	過去5カ年平均値	51.1	1012	9.6	41.9	
	対比	(133%)	(62%)	(+1.3)	(+0.1)	
	農試参考値	60.6	883	10.2	-	
	農試平年比	(135%)	(88%)	(+1.4)	-	

参考は農試作況の3月19日調査データ（播種日はシロガネコムギ：11/20、サチホゴールデン：12/10）
 今年のサチホゴールデンは播種後の降雨の影響で出芽がやや遅れた。
 平年値は過去5カ年の平均。

農研機構にて、積算気温等による麦の出穂期予測が公開されています。詳細は下記URLを参考ください。
 農研機構：リアルタイムアメダスを用いた麦の発育ステージ予測

http://www.naro.affrc.go.jp/org/warc/meteo_fukuyama/WEB/wheat/index_mugi.html

3月19日時点のチクゴイズミの予測出穂期
 11/20 播種：3月28（平年より2週間程度早い見込み）